令和2年1月における会員の財務状況等

日本商品委託者保護基金

1.会員数の状況

会員数は26社。内訳は受託会員14社、取次会員12社となっている。

2.委託者数等の状況

委託者数は延べ80,071人で前月から89人増加した一方、建玉委託者数は12,409人で前月から55人減少となった。また、役職員数は3,864人で前月から4人減少した。

3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は504,044枚で前月から31,264枚減少し、預り証拠金も1,276億73百万円となり前月から14億76百万円減少した。なお、委託者に占める建玉委託者は15．5%となり前月から0.1ポイント減少した。

4. 純資産額の状況

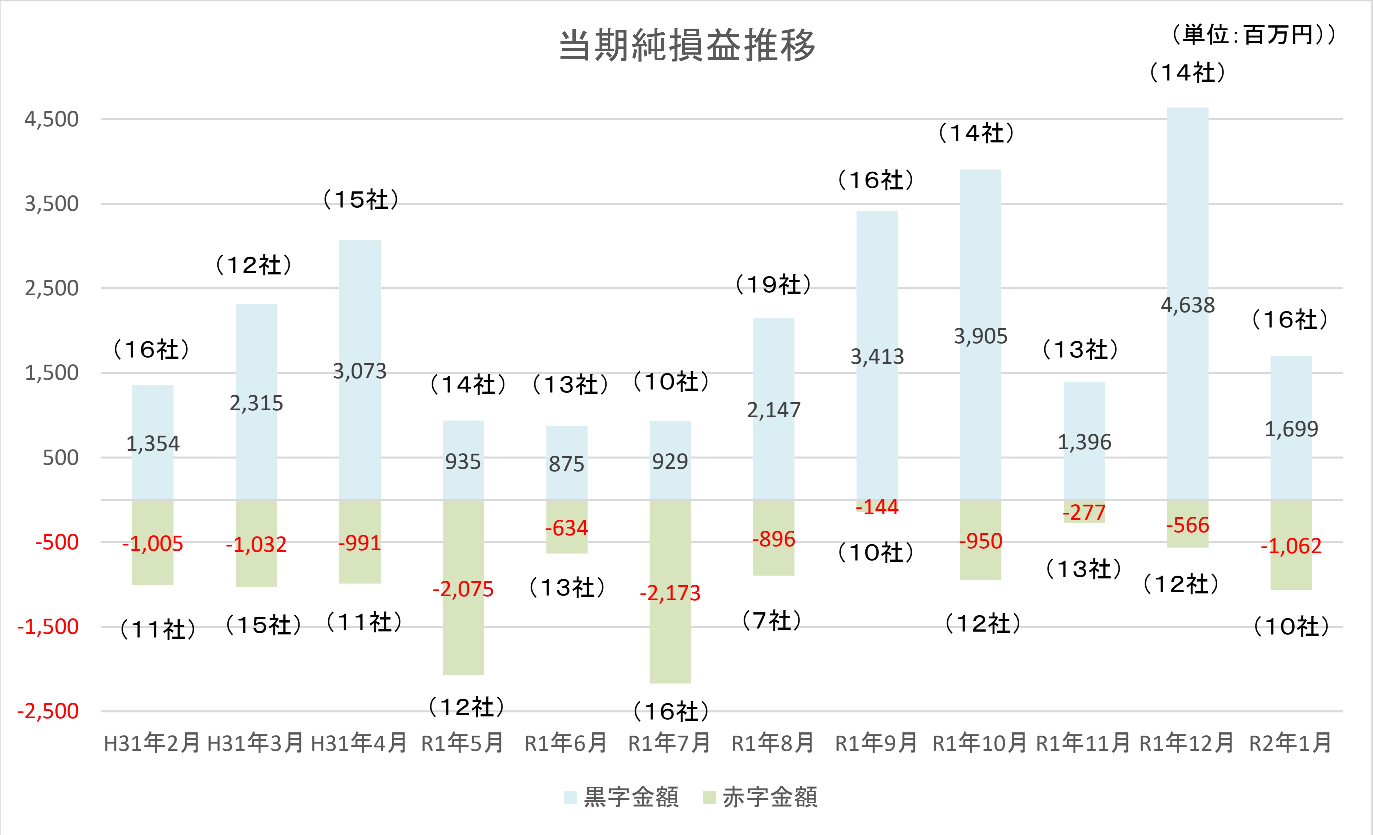
会員の純資産額は総額3,362億47百万円となり、前月から14億42百万円の減少となった。

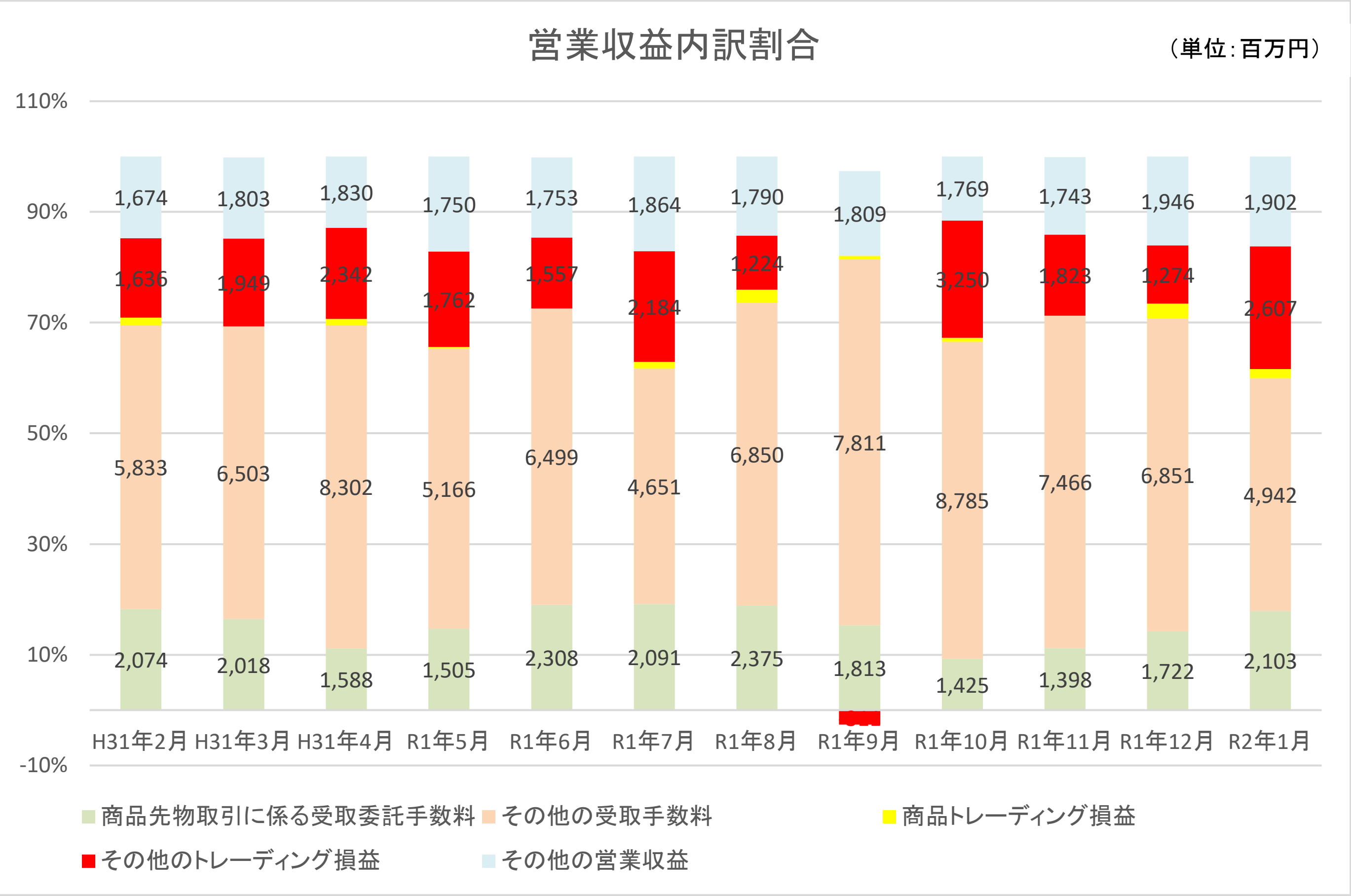
5. 損益状況

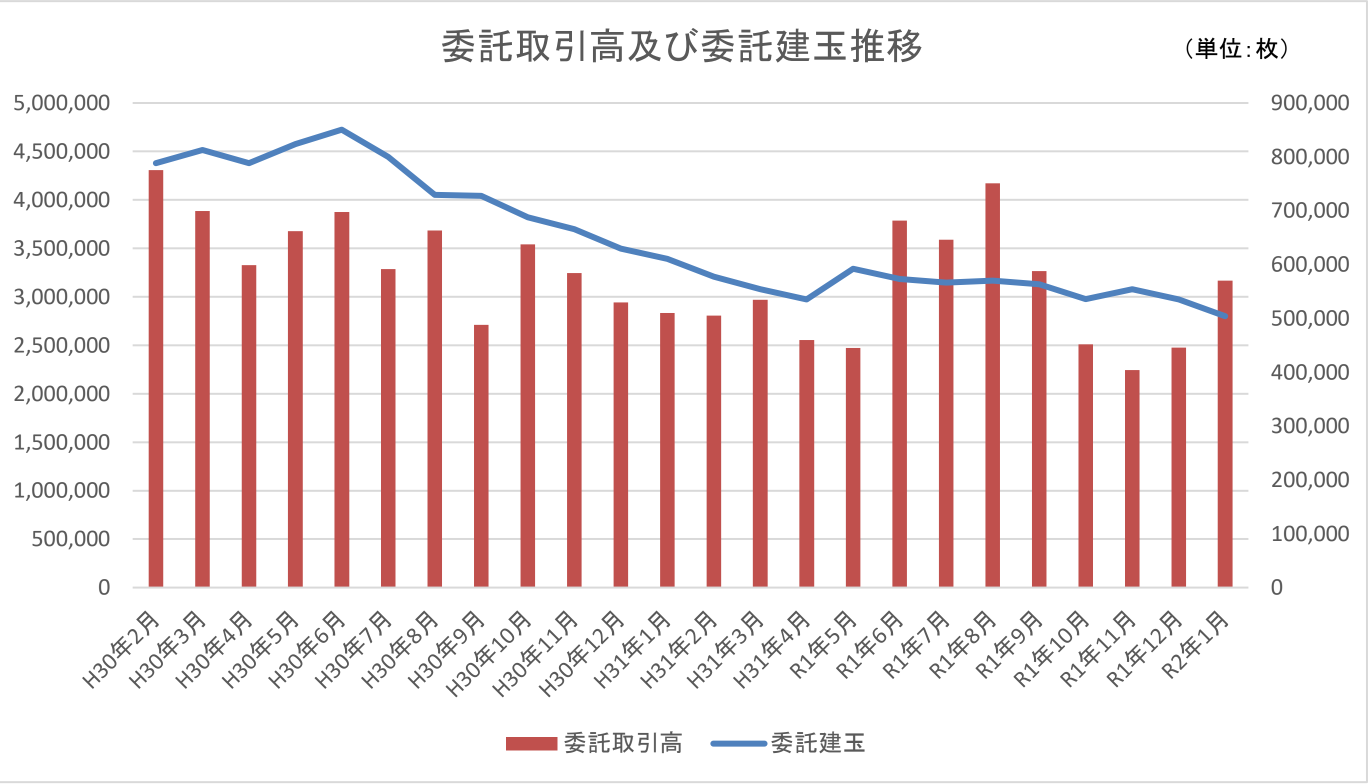
今月の当期純損益について、黒字の会社が16社、赤字の会社が10社となった。委託取引高が300万枚を回復したことに伴い、「商品先物取引に係る受取委託手数料」が増加した。また、「その他のトレーディング損益」が大きく増加した。しかしながら、委託取引高の伸びほど「商品先物取引に係る受取委託手数料」が伸びず、さらには「その他の受取手数料」が減少したことから、当期純損益は約6億円の黒字にとどまった。なお、黒字社数は前月の14社から2社増加した。

6. 取引高の状況

委託取引高は、前月比69万280枚（27.9%）増（前年同月比11．8%増）の約316万枚となった。ほぼ全ての商品の委託取引高が増加したが、特に金標準取引（前月比357,472枚（37.4%）増の約131万枚）、金ミニ取引（前月比72,692枚（67.2%）増の約18万枚）及び白金標準取引（前月比124,378枚（23．7%）増の約64万枚）の増加が大きかった。また、電力先物が合計5,206枚を計上し、前月（546枚）に比べ約9.5倍と大きく取引高を伸ばした。




営業収益内訳割合
（単位：百万円）
110%
90%
70%
50%
30%
10%
-10%
H31年2月 H31年3月 H31年4月 R1年5月 R1年6月 R1年7月 R1年8月 R1年9月 R1年10月 R1年11月 R1年12月 R2年1月
1,674 1,803 1,830 1,750 1,753 1,864 1,790 1,809 1,769 1,743 1,946 1,902
1,636 1,949 2,342 1,762 1,557 2,184 1,224 3,250 1,823 1,274 2,607
5,833 6,503 8,302 5,166 6,499 4,651 6,850 7,811 8,785 7,466 6,851 4,942
2,074 2,018 1,588 1,505 2,308 2,091 2,375 1,813 1,425 1,398 1,722 2,103
商品先物取引に係る受取委託手数料
その他の受取手数料
商品トレーディング損益
その他のトレーディング損益
その他の営業収益


委託取引高及び委託建玉推移
（単位：枚）
5,000,000
4,500,000
4,000,000
3,500,000
3,000,000
2,500,000
2,000,000
1,500,000
1,000,000
500,000
0
900,000
800,000
700,000
600,000
500,000
400,000
300,000
200,000
100,000
0
H30年2月 H30年3月 H30年4月 H30年5月 H30年6月 H30年7月 H30年8月 H30年9月 H30年10月 H30年11月 H30年12月 H31年1月 H31年2月 H31年3月 H31年4月 R1年5月 R1年6月 R1年7月 R1年8月 R1年9月 R1年10月 R1年11月 R1年12月 R2年1月
委託取引高
委託建玉

以上